

1 日時：平成26年11月4日(火) 午後14時15分～午後16時30分

2 場所：大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

委嘱委員

(敬称略)

近畿大学 教職教育部 教授	田中 保和
東大阪市立新喜多中学校長	小田 昇司
平成26年度 清友会理事	小林 裕子
平成26年度 清援会長	林 宏匡
平成26年度 PTA会長	井筒 記美恵

校内出席者

校長、教頭、事務長、首席2名

※記録：首席

4 授業視察(6限目) 14:15～15:15

5 協議：

I. 学校長挨拶

II. 協議

① 授業視察について

- ◆ 校長より教員による授業公開・授業見学の実施について説明

〔委員からの質問意見〕

- 『子どもの声が聞こえない授業が多い』
- 生徒が中心の授業作り。
- 生徒と教員の言葉のキャッチボールが必要。

② 授業アンケート・提案授業について

- ◆ 校長より概要を説明。

〔委員からの質問意見〕

- 授業提案を、文章化して提案することは非常に大切である。
- 中学校では、研究授業に取り組んでいる。忙しい時期は避けてよいが、何らかの「シカケ」が必要となる。

③ 学校教育計画の進捗状況について

《学習指導の充実》

- ◆ 6月授業公開を行ったが、参観が多数とは行かなかった。若手中心の研究授業などを企画したい。
- ◆ 家庭での学習時間の推移、夏期休業中の計画的な講習実施などについて説明。
- ◆ 1年生の、スタディーサポートランクが上昇、クラブ加入率も上昇している。
- ◆ 遅刻件数も減少しているが、更に指導を進めていきたい。

〔委員からの質問意見〕

- 家庭学習の時間は十分と考えているか？
→少ないと考えており、伸ばしていきたい。
- 予備校に通わず自宅学習している3年生の家庭学習時間は、平均よりもかなり長い。
- 小中学校時代から家庭学習時間が少なく習慣化されていない可能性がある。区によっては啓発パンフなどを作成しているところもある。
- 「勉強しろ!勉強しろ!」では、生徒に響かない。やはり、「目的意識」を持つための自学自習が大切。「想像力のある生徒が伸びていく」と感じるので、興味を抱くキッカケを多く与えてやって欲しい。

《生徒指導の充実》

- ◆ スクールカウンセラーの活用について、教員利用の増加は、生徒指導について協議するケースである。

〔委員からの意見〕

- スクールソーシャルワーカーの利用もできるのか。
→学校から働きかければ利用可能な状況にはある。
- 遅刻件数が減少している理由は何か。
→遅刻指導についての方針統一が校内できあがってきたと思う。

《学校運営の充実》

- ◆ 同窓会による自習室開設について報告。
- ◆ 昨年度から校内センター試験模試を行っている。

〔委員からの質問意見〕

- 自習室には、大学生が来ているのか
→教職経験者などの、同窓生の方がついてくれている。
- ④ 学校教育自己診断（案）について
 - ◆ 昨年度詳細に項目検討を行っていただいた。経年変化を見る上でも、昨年度と同様の内容で実施したい旨、報告。了承された。
 - ⑤ 平成28年度入学者選抜について
 - ◆ 近々、要項は発表される予定。
 - ◆ 来年度からの「アドミッションポリシー」に関連し、「普通科」「校風」についての意見交換がなされた。
 - ⑥ 次回予定
 - ◆ 2月3日（火）16:00 本校校長室にて

議事終了 16:30

以上